

菅首相の辞意表明に対して

2021年9月3日 愛知県医労連

「コロナ対策に専念するから総理大臣を辞する」という理由が支離滅裂です。コロナ対策に専念するというなら臨時国会をひらき、コロナ対策に必要な予算を手当すべきです。医療崩壊で人がバタバタ死んでいるなか、自民党の総裁選なんてやっている場合ではありません。

首都圏の感染爆発と医療崩壊は愛知にも広がり、愛知はコロナ患者の入院数が1000人を超え、病床使用率62.1%ステージ4です。自宅療養者は17276人。9割が自宅療養で、入院が必要でもできていない状況です。

東京では先週1週間で10人が在宅死しましたが、愛知でも在宅死が起きています。

昨日、私たちは愛知県知事に対して、臨時医療施設の設置、宿泊療養施設の拡充を緊急に申し入れました。国は都道府県をバックアップすべき大事な時に、総理大臣は職を投げ出したと思います。オリパラの強行で散々感染を増やすだけで尻ぬぐいもせず責任放棄だと感じてしまいます。

菅首相の辞任は国民の世論と運動に追い詰められた結果だと考えます。無策で感染拡大させ、支持率の低下に歯止めがかからず、総裁を変え、国民の目をくらませて支持率向上を狙っているとしか思えません。

今の政権は、コロナ対策に極めて重要な「早期発見、早期隔離、早期治療」に向き合わず、後手後手の対応で、医療現場の負荷がかかりすぎています。豊橋市民病院では一般医療の制限も始まっています。与党のコロナ対策では国民の命が守れません。

いのちをまもる政権に変える必要があると考えています。

愛知県医労連は6月以降、10回のスタンディングとツイッターデモを継続してきました。今後も、命まもる政治への転換を求め、発信を続けたいと思います。」